

No.12 歴史・文化及びスポーツの振興〈歴史文化・スポーツ〉 （人権・社会教育課）

令和5年度までにめざす姿

- ①里地里山に学びながら、郷土の歴史や文化を保存・継承し、町づくりや地域づくり、ふるさとの誇りづくりに活かします。
- ②スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくり、健康づくりを推進します。

令和3年度にめざした成果

- ①地域の文化財を知っていただく取組や学校でのふるさと教育の取組を継続して行えるよう、なんぶふれあい館を拠点に展示や企画等を検討します。
- ②スポーツを身近に感じる方、スポーツを通して健康づくりをする方、スポーツを通じた仲間づくりをする方が昨年よりも増えることをめざします。

令和3年度にめざした活動

- ①地域や学校、各種団体と連携し、文化財保護の啓発を継続的にを行い、なんぶふれあい館を共有の場として利用します。
- ②体育施設の利用者が予約をしやすくなるなど、体育施設の利用に関してシステム化を行います。また、強化選手の育成、大会の開催やチーム間の交流等、よりスポーツを身近に感じてもらえる取組を進めます。

令和3年度の成果

- ①南部町の歴史や文化に親しんでいただけるようなガイドなどにより、なんぶふれあい館の利用者に文化財を知るきっかけづくりができるようになりました。
- ②コロナ禍において利用率が通常営業時と比べ激減しましたが、受付業務のシステム化を行い、施設利用の利便性を高めました。また、今年度より発足したマスターズクラブでは11種目の団体に加盟いただきました。

令和3年度の問題

- ①イベントが実施しにくい状況です。文化財資料の総量が確認できず、収蔵スペースを確保できていません。貴重な資料の整理もできていません。
- ②大人数での実施、接触を伴う競技等については実施が難しくなりました。

令和4年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①文化財保存に関わる個人・団体を支援します。なんぶふれあい館を核とした文化財保護の啓発を継続して実施します。
- ②クラブホームページの活用や窓口での周知を継続し、感染対策を十分にとったうえで可能なものから活動再開を検討します。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①文化財資料の整理と収蔵スペースの見直し・検討を行います。
- ②コロナ禍でもスポーツを身近に感じてもらえる工夫を行い、子どもから高齢者、障がいのある方等、それぞれの方に合った体力増進を目指し、心身ともに豊かな生活が送れることを目標とします。

(3) 新たに取組む方策

- ①なんぶふれあい館での町民の企画を実現できるよう、事業を検討し、実施につなげます。
- ②運動習慣の重要性を伝え、地域の方々の健康維持をサポートできるように、取組めます。